

# お客さまやお取引先とともに 持続可能な社会を支える新たな価値を 提案しています

環境問題や資源の枯渇など、  
世界的な社会課題は一企業だけでは解決することができません。  
こうした課題について、環境に配慮した商品開発や森づくりなどの  
環境活動を通じて、お客さまやお取引先を含めた多くの方々に関心を持っていただき  
持続可能な社会・環境の実現に努めています。



## 「セブンカフェ」のホットカップに 間伐材を使用

ドリップコーヒー「セブンカフェ」のホット  
カップは、間伐材を使用した容器に切り替えを  
進め、2015年内に全店で切り替えが完了する  
予定です。



間伐材を使用した  
商品に使われるマーク

## サラダカップを 環境配慮型PET容器に変更

オリジナルの「サラダカップ容器」を、石  
油由来のPET容器から、リサイクルPET、  
バイオマスPETなどを配合した環境配慮型  
PET容器への切り替えを進めています。

2015年内に100%の切り替えが完了する見  
込みです。この取り組みによるCO<sub>2</sub>排出削減量  
は1,790t (2015年度)を見込んでいます。



### その他の環境配慮型商品



こだわり新鮮たまごの  
パック  
焼却時に排出されるCO<sub>2</sub>  
を焼却灰の中に吸収する  
「エコナノラベル」を採用

CO<sub>2</sub>削減量  
(年間見込み)  
約22トン



酒類パック容器  
従来のアルミパックよりも  
CO<sub>2</sub>排出量が約12%削減  
できるノンアルミパックに  
変更

CO<sub>2</sub>削減量  
(年間見込み)  
約170トン

## 自然の魅力や大切さを学べる「高尾の森自然学校」を開校

セブン-イレブン記念財団※は、2015年4月10日に東京都との協働事業として八王子市川町に「高尾の森自然学校」を開校しました。この自然学校は「人と自然、自然環境と地域社会の共存・共栄を自然から学ぶ」ことを基本理念に、貴重な自然が残る約26.5ヘクタールの森林を守り、育むことで低炭素社会の実現に寄与していきます。

現在は、森林整備活動を事業の大きな柱とし、健全な森づくりのための下刈り、間伐作業、枝打ち、炭焼きを実施しています。また、希少動植物の保護・保全活動や体験学習を通し、生物多様性を守りながら自然の魅力や大切さを学べるプログラムを展開しています。

また、森林ボランティア体験、野鳥観察会、草木の観察会、クラフトワークショップなどのプログラムも開催しています。



野鳥観察会の様子

### 「高尾の森自然学校」プログラムへの参加方法

「高尾の森自然学校」では、森林ボランティア体験、野鳥観察会、草木の観察会、クラフトワークショップなどのプログラムを開催しています。詳しい参加方法は、セブン-イレブン記念財団のWebサイトに掲載しています。興味のある方は、ぜひご覧になってください。

[Web http://www.7midori.org/takao/program](http://www.7midori.org/takao/program)



開校式でのテープカット。当日は記念植樹、記念講演会、自然観察会が行われました。

## 「セブンの森」づくりを推進

セブン-イレブン記念財団と協働して、地球温暖化防止や生物多様性の維持・保全に貢献することをめざす森林保全プロジェクト「セブンの森」づくりに取り組んでいます。

このプロジェクトでは、継続的な植樹にとどまらず、健全な森づくりに向けた植樹から下刈りや間伐などの森の保育活動を進めています。また、「セブンの森」から得られる間伐材を店頭募金箱や事務用品として活用するなど、木材を循環させていくことで森林保全と地球温暖化防止につなげています。



間伐材を使ってひとつずつ  
手づくりされた募金箱



「セブンの森」の森林保全プロジェクトへの参加者

※セブン-イレブン記念財団：加盟店とセブン-イレブン本部が一体となって環境をテーマにした社会貢献活動に取り組むことを目的として、1993年に設立されました。セブン-イレブンの店頭募金とセブン-イレブン本部からの寄付金をもとに、地域に根差した環境活動に取り組んでいます。